



●児童・生徒のつながり

それぞれの中学校区では、一体感がもてるよう、小学校同士や小学校と中学校とがつながり合う取り組みを、それぞれの特色を生かしながら実施しています。

これらの取り組みでは、児童・生徒がつながり合うことをねらいとしています。他校や他学年の人とのふれあいを通して、人を思いやる優しい心を持ってくれること、夢や目標を抱いてくれることを願っています。



●学びのつながり

義務教育9年間の学習をつなぐために、昨年度作成した「高島市小中一貫教育標準カリキュラム」を活用した授業を行っています。また、小学校では教科担任制を導入したり、中学校の教員が専門教科を指導したりして、小中学校の学習に一貫性と連続性をもたせ、子どもたちの学力や体力の向上を目指しています。

本年度4月から小中一貫教育を本格的に実施しています。「つながり」をキーワードに、小中学校9年間を見据えた教育が、市内全ての中学校区で根付いてきました。

根付いてきた！小中一貫教育



(オレンジリボンたすきリレー参加者の皆さん)

子ども虐待防止

オレンジリボンキャンペーン実施中

オレンジリボンには「児童虐待防止」というメッセージが込められています。一人でも多くの方々に「児童虐待防止」に関心を持ってもらい、子どもたちの笑顔を守るために一人ひとりに何ができるのかを呼びかけていく活動が「オレンジリボンキャンペーン」です。高島市ではオレンジリボンの啓発活動を推進しています！

オレンジリボンたすきリレー

10月18日(土)19日(日)、オレンジリボンののぼりを掲げて走る「第5回びわ湖1周オレンジリボンたすきリレー」が行われました。NPO法人CFRびわこ主催の催しで、参加者は、湖畔12.3kmを走り、高島市の県立びわ湖こどもの国でフィニッシュを迎えました。



びわ湖高島栗マラソン大会

10月19日(日)開催の「びわ湖高島栗マラソン」で、ランナーの皆さんに、オレンジリボンを付けて走っていただきました。会場テントでは、虐待予防のメッセージとリボンの描かれたオレンジ色の風船を配布しました。

児童虐待防止推進月間一斉啓発

11月20日(木)に県内の各市町で児童虐待防止を呼びかける活動が行われました。市内では、早朝からJR各駅で街頭啓発を行いました。

通告・相談先

- ◆子ども家庭相談課 ☎(25)8517
または市内各保健センター
- ◆虐待ホットライン(24時間対応)
☎077(562)8996
中央子ども家庭相談センター内にあります。
- ◆子ども・子育て応援センター(こころんだいやる)
☎077(524)2030
☎0570(078)310(24時間対応)

高島市スポーツ推進計画の紹介②

6項目のうち、今回は「競技スポーツの推進」について紹介します。

- ◎基本方針とその方向性
 - アスリートを育成するためには、スポーツ少年団、中学校や高校での部活動と成長にあわせ一貫した指導環境が望ましく、関係する団体や機関が相互に連携協力できる環境づくりに努めます。
 - 高齢化とともにマスターズ世代が多くなり、この世代を対象とした競技の機会も必要となってきます。その年代に応じて競技を楽しめる大会やイベントの開催を推進します。
- ◎推進の方策
 - 体育協会の組織力の充実強化
 - 各種競技大会の水準の向上
 - 子どもから大人まで一貫した育成環境の整備
 - 全国大会、国際大会出場者の顕彰制度の拡充
 - 児童、生徒のスポーツ活動を支援
 - 障がい者の競技スポーツへの取り組みを支援
 - 平成34年度に市民体育大会の参加者数30%増、県民体育大会の参加者数10%増
- ◎現在の主な取り組み
 - 全国大会、国際大会出場者に激励金を支給
 - 競技大会の結果などを広報に掲載
 - 市民体育大会での優秀選手の表彰
 - スポーツ少年団活動への支援、指導者研修会の開催



第2回 高島市小中一貫教育フォーラムを開催します

日時 1月30日(金) 13時50分～16時45分
場所 ガリバーホール

- ・児童生徒の発表
- ・研究発表
- ・記念講演
「小中一貫教育を通して学力の向上をめざす」
(講師) 秋田大学文化教育学部 教授 阿部 昇氏

高島市教育委員会 第10回定例会報告 10月27日開催

- 協議・報告事項
 - ・学校統廃合の取り組み状況について
 - ・市内中学生徒の転落事案にかかる対応について
 - ・平成26年度高島市小中一貫教育フォーラムについて
 - ・高島市子ども読書活動推進計画(第2次計画)について
 - ・2014年 高島市青少年育成大会について

このコーナーに対するご意見等は、高島市教育委員会事務局教育総務課 ☎(32)1132 までお気軽にお問い合わせください